

事業名	通し番号	取り組み	概要	R3決算額 (単位千円)	R3実績	R4決算額 見込み (単位千円)	R4実績	R5予算額 (単位千円)	R4自己評価 (取り組み別)	R4自己評価 (事業別)
スポーツ推進委員 費	1	・ニューススポーツ体験教室	ポッチャやミニテニス等子どもから大人までが一緒に楽しむことのできるニューススポーツを紹介、体験をする。	3,639	7回82人	5,272	11回248人	5,374	子ども、高齢者、障がい者と幅広い年代や対象の方にスポーツに触れる機会を提供できている。定期的を開催しており、リピーターも多い。参加者の反応を見て次回以降の内容について柔軟に対応するなど、継続的にスポーツを取り組める工夫がなされている。	21名のスポーツ推進委員の精力的な活動により、市内の身近な場所でだれもが楽しめるスポーツ環境の創出し、幅広い年代の方の健康維持・増進、スポーツに触れる機会や市民交流に繋がっている。新型コロナウイルスの影響により中止になっていた事業も、一部は規模縮小での開催となったが、再開することができた。コロナ禍で体を動かす機会の減った市民にとっても貴重な場を提供できたと考え。年々リピーターも増えており、継続的にスポーツに取り組む環境を提供できている。来年度以降も事業を継続し、多くの市民の方が日常の中でスポーツに「触れる」「楽しむ」機会を提供し続けていく。
	2	・ノルディックウォーキング初心者体験教室 (屋外)	ノルディックポールを使用しているウォーキング体験。公園内で手法を学び、あらかじめ設定した3～4kmのコースを歩く。		5回82人		8回113人		平均的に20名前後の参加者があり、徐々に事業が定着してきている。市民が自主的にノルディックウォーキングを始めるきっかけにもなっており、事業実施により高齢者をはじめ参加者の健康増進に繋がっている。	
	3	・ポッチャフレンドカップ (総合体育館)	年齢や障害の有無に関わらず、多様な市民同士の交流や、誰もが気軽にスポーツに親しむ機会の提供を目的とした、ユニバーサルスポーツ「ポッチャ」の大会。		1回84人		1回118人		ポッチャフレンドカップを通じて、子どもから高齢者、障がい者など誰もが気軽にスポーツに親しむ機会、交流の場の提供ができた。参加者も年々増加しており、市のユニバーサルスポーツであるポッチャの推進においても大きな位置づけの事業となっている。	
	4	・グラウンドゴルフ体験教室 (南豊ヶ丘フィールド)	南豊ヶ丘フィールドの地域貢献デーを活用し、無料開放されたグラウンドで実施。		13回335人		15回527人		平均的に30人前後の参加者があり、事業が定着してきている。リピーターも多く、事業実施により高齢者をはじめ参加者のコミュニティの場となっており、健康維持・増進に繋がっている。また、年に1回大会の実施を図るなど参加者のモチベーション向上を図っている。	
	5	・ニューススポーツラリー	多世代、障害の有無に関わらず楽しめるニューススポーツ体験型イベント。ポッチャ・ネオテニス・ディスクゴルフなどの数多くの種目が一度に体験できることを目的に開催。		中止		1回19人		新型コロナウイルスの影響により中止となっていたが、令和4年度に再開した。当日は、数多くのニューススポーツが体験できるため、自分の興味にあったスポーツを探すことができる。令和4年度は参加人数が思うように伸びず、毎月行っているニューススポーツ体験教室との差別化を図っていく必要がある。	
スポーツ教室運営 事業	6	・八ヶ岳子どもサッカー体験教室 (夏)	多摩市、稲城市、長野県富士見町の3自治体の子どもが東京ヴェルディのコーチの指導の下、サッカーを通じた交流を図る。	0	中止	2,365	1回86人	457	新型コロナウイルスの影響により中止となっていたが、令和4年度は事業を再開した。稲城市や友好都市の富士見町とのサッカーを通じた交流や東京ヴェルディのコーチによる専門的な指導によりサッカー技術の向上が図られた。	本事業は、アスリートの指導による児童の競技レベルアップやアスリートに触れる貴重な機会や普段スポーツに触れる機会が少ない市民にスポーツに触れてもらうきっかけが提供できた。新型コロナウイルス感染症の影響により多くの事業が中止となっていたが、令和4年度は多くの事業が再開となった。開催期間が開いたことで参加者数の減少も危惧されたが、ほとんどの事業でコロナ禍前同様の多くの参加者が集まった。一部事業で、周知や日程等の関係で参加者が思うように伸びない現状があるため、より多くの市民に参加していただく方法を検討する必要がある。
	7	・八ヶ岳子どもサッカー体験教室 (秋)	夏の体験教室に参加した子どもたちを東京ヴェルディの多摩市ホームタウンに招待。味の素スタジアムでの試合観戦とサッカー教室を実施。		中止		1回48人		味の素スタジアムで行われる東京ヴェルディの公式戦観戦やスタジアムでのサッカー教室など、サッカー技術の向上だけではなく貴重な経験を提供できている。サッカーに興味のある子どもたちが、東京ヴェルディとの繋がりを感じ、ホームタウンとしての意識醸成にも貢献している。	
	8	・大学連携スポーツ教室	市内大学と連携し、小学生等を対象にスポーツ教室を行う。		中止		中止		新型コロナウイルスの影響により中止	
	9	・新春歩こう会	登戸 (20km) 武蔵小杉 (10km) から川崎大師駅まで多摩川河川敷を中心に歩く。		中止		1回107人		新型コロナウイルスの影響により中止となっていたが、令和4年度は事業を再開した。スポーツ推進委員の協力を得て実施し、100名以上の参加者がいる市の恒例行事となっている。	
	10	・快汗スポーツDAY (ニューススポーツ体験)	市内体育施設を無料開放し、各所において健康チェックやスポーツ教室、競技体験等を実施。		1回34人		1回3,144人		昨年度は、新型コロナウイルスの影響により規模を縮小して実施したが、令和4年度は、総合体育館、武道館、温水プール、多摩東公園、関戸公園野球場の3か所で開催にスポーツに関する体験教室を行うなど従来の規模での事業を実施した。野球やテニス、チアダンス、アーチェリー、ニューススポーツなど、多種多様なスポーツが誰でも楽しめる場として多くの市民が参加した。	
	11	・小学生ゴルフ教室	多摩市連光寺にある米軍多摩ヒルズゴルフコースでタマキッズゴルフの会指導によるゴルフ教室。		中止		1回8人		新型コロナウイルスの影響により中止となっていたが、令和4年度は事業を再開した。市内の特色のある施設である米軍多摩ヒルズゴルフ場を活用したゴルフ体験教室となっており、「タマキッズゴルフの会」指導のもと、実際のゴルフコースを使った練習など、ゴルフの楽しさを体験できる貴重な機会となっている。	
	12	・読売巨人軍 小学校訪問 幼保訪問	読売巨人軍のアカデミーコーチや選手による野球、ベースボール型授業の実施。	11校2園 1,057人	11校2園 982人	読売巨人軍のアカデミーコーチや選手による野球、ベースボール型授業の実施した。技能習得のコツやゲームの進め方などを直接児童に指導しながら、児童の技術習得の場だけではなく、教員の指導力向上にも繋がっている。				

スポーツ団体助成事業	13	・市民体育大会等	市民の健康の保持・増進と各スポーツの技術向上を目的として開会式や競技大会、ジュニア推進事業を実施。	6,158	32団体 5,753人	6,779	27団体 6,768人	8,064	市民体育大会は、多くの市内各競技チームの活動目標となっており、市民の健康増進とスポーツ技術向上に大きく寄与している。	新型コロナウイルス感染症の影響により、武道祭や一部市民体育大会競技が中止となった。市民体育大会や武道祭は、多くの市内各競技チーム等の活動目標となっており、市民の健康維持・増進、スポーツを通じた交流、スポーツ技術向上に大きく寄与しているため継続が必要。
	14	・武道祭	体育協会主催。体協加盟の武道団体が集い演武を披露する。		中止		中止		新型コロナウイルスの影響により中止	
スポーツ大会等派遣事業	15	・都民体育大会（東京都町村総合体育大会）選手派遣	都民大会や町村総合大会に多摩市の代表選手を派遣する。	983	1種目5人	2,033	35種目376人	3,835	都内のレベルの高い試合を経験、観戦することで、選手の競技レベル向上することに寄与している。	都内のレベルの高い試合を経験、観戦することで、選手の競技レベル向上することに寄与しており、引き続き継続していく。
地域スポーツ振興事業	16	・地域スポーツ振興事業	生涯スポーツの振興と地域コミュニティの促進を図るため、地域スポーツ振興会等に対し物的支援を行う。	0	実施無	0	実施無	27	新型コロナウイルスの影響により実施無	地域でのスポーツ振興を図るため、30年程前にスポーツ振興会を設置したが、現在は大栗川地域スポーツ振興会一つのみが存続している状況。地域で行われるスポーツに「触れる」「楽しむ」機会や地域の交流を創出しており、引き続き支援が必要である。
東京ヴェルディ協働事業	17	・東京ヴェルディ・ベレーザ公式戦観戦、公開練習試合等	多摩市をホームタウンとする東京ヴェルディの公式戦優待や練習場としている陸上競技場での公開練習試合を実施。	1,010	公式戦1回 533人	969	公式戦3回 963人、公開練習試合1回17人	1,128	東京ヴェルディやベレーザの試合に多摩市民は無料又は優待価格で招待した。また、陸上競技場で行われるベレーザの公開練習試合も実施した。本事業で、多くの市民が生でプロスポーツを観戦する機会を創出し、スポーツや多摩市をホームタウンとする東京ヴェルディに対する関心を持つきっかけの提供できたと考え。	平成24年に締結した「多摩市と東京ヴェルディによるまちづくりの推進に関する基本協定書」に基づき、スポーツ、文化、教育、健康づくり、介護予防、地域振興など様々な分野に関する事項について協力することになっている。市と東京ヴェルディと協働することで、多摩市民にトップアスリート等による質の高い指導によるレベルアップやスポーツに触れる機会、市をホームタウンとする東京ヴェルディを応援することで生まれる市民の一体感の創出。また、学校訪問型障がい者スポーツ授業や障がい者スポーツ体験教室をきっかけに障がい者理解促進など他方面でも良い影響が出ている。引き続き、東京ヴェルディと協働することで、多摩市のスポーツ振興を推進していく。
	18	・ヴェルレンジャー事業	東京ヴェルディの各競技アスリートやコーチによる教室。スポーツサイクル、フットサル、セパタクロ、野球等を実施。		4回49人		2回6人		各競技アスリートやコーチから技術等を学ぶことができる貴重な機会であるが、サッカー以外の競技については、申込者が少ない実態があり、周知方法など課題がある。	
	19	・小学校選手派遣事業	アスリートと直接触れ合うことで、スポーツの楽しさ興味を持ってもらう取組。		中止		2回110人		新型コロナウイルスの影響により中止となっていたが、令和4年度は事業を再開した。東京ヴェルディの選手が、小学校を訪問して、児童とサッカーを通じたふれあいの時間を過ごす機会を提供できた。選手との交流を通して、東京ヴェルディのチーム及び選手を身近な存在に感じてもらうこと、また児童がプロアスリートとの交流を通して、その考え方や、目標等をもつことの意義を学ぶきっかけづくりができた。	
	20	・学校訪問型障がい者スポーツ授業	市内小中学校を対象とし、障害者スポーツの普及及び障害者理解促進を目的として実施。		16回947人		17回1,189人		毎年、多くの市内小中学校が利用を希望しており、東京ヴェルディに所属する現役障がい者アスリートや障がい者スポーツの指導員を派遣することで、障がい者スポーツを通じた障がい者理解促進や障がい者アスリートの技術力の高さや障がい者スポーツの奥深さに触れることができた。	
	21	・障がい者スポーツ体験教室	民間企業である京王SCと東京ヴェルディと多摩市による協働事業。障がい者でも取り組みやすいスポーツ教室を展開。		9回78人		10回76人		本事業は、東京ヴェルディと京王聖蹟桜ヶ丘SCとの協働により、総合体育館や駅近くのアクセスが良い商業施設内で東京ヴェルディのコーチの指導の下、スポーツを体験できる貴重な事業である。従来より市内障がい者通所施設からも多くの方が参加していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により一部参加を見合わせている事業所もあり、コロナ禍前に参加していた方が再び参加できるような働きかけが課題である。	
	22	※東京ヴェルディ・ベレーザホームタウン事業	多摩市陸上競技場を練習場とし利用している東京ヴェルディ・ベレーザ主催の市民向けに提供される各種事業 ※企画・運営ともに東京ヴェルディのため正確には市の事業ではないが、陸上競技場を練習場として活用している東京ヴェルディと市の関係により実現している		—		5回298人		年5回、東京ヴェルディ企画・運営でホームタウンである多摩市の市民向けに公開試合の観戦や交流事業等を行っている。令和4年度は、ヴェルレンジャーサッカー教室、日テレ・東京ヴェルディベレーザ練習公開、ミニサッカー交流会、東京ヴェルディクラブ『フットサル&セパタクロ』体験教室の5事業が行われた。トップアスリートのプレーを間近で見る機会や選手と交流する貴重な機会となっている。	
オリンピック・パラリンピックムーブメント推進事業	23	・スポーツボランティア	多摩市が主催・協力するスポーツイベントの企画・運営をサポートする。	—	—	—	—	—	令和5年度設置に向け準備を行った。令和5年4月から会員の募集を開始している。	東京2020大会のレガシーの一つとして、「楽しく！美しい！ラジオ体操教室」を実施している。多くの市民に身近な施設となっているコミュニティセンターで、誰でも気軽に取り組めるラジオ体操について、正しい動きを学ぶことで運動としての効果を引き上げ、市民の健康維持や増進に寄与する事業となっている。参加者の多くが高齢者であるため、次年度以降は開催回数や開催日時等を見直すなど幅広い年齢に広まるよう工夫をして実施していく。
	24	・楽しく！美しい！ラジオ体操教室	国士舘大学男子新体操部の先生の指導の下、コミュニティセンターでラジオ体操教室を実施。	—	—	140	5回93人	4,138	1周年記念事業は10月10日(月)の快汗スポーツDAYに合わせて総合体育館で実施した。通常の教室は実施希望のあった市内のコミュニティセンターを巡回する形で計4回実施した。 当事業を通して、各回の参加者からは、「ラジオ体操のひとつひとつの動きが改めて理解できた」、「今後、自分でもラジオ体操を行う際に、今日の内容を活かしていきたい」などの声をいただいた。当事業を通して、多摩市のオリンピック・パラリンピックに関する取り組みを再確認してもらったこと、また実際に見る、体験する形でスポーツの楽しさに触れていただいた。	
	25	・自転車ロードレース	東京2020で多摩地域で開催された自転車ロードレースのレガシーを繋ぐため、使用コース等を活用したレースを実施するため、運営に協力する。	—	—	—	—	—	—	